

静岡県川根本町 個別施設計画（トンネル）

【計画期間】令和5年～令和9年（5年間）

●老朽化対策における基本方針

- ・全ての管理トンネルについて予防保全型の管理を行い、長寿命化を推進し、道路交通の安全性確保、維持管理コストの削減に努める。

●新技術等の活用方針

- ・定期点検や修繕において、新技術の活用を含めた比較検討を行い、事業の効率化やコスト削減を図ります。
- ・従来技術を活用した場合と比較して、令和9年度までに管理するトンネルの点検1箇所程度で新技術の活用を行い、約5%のコスト削減を目指します。

●費用の縮減に関する具体的な方針（集約化・撤去等を含む）

- ・集約化・撤去対象の検討を行った結果、管理するトンネルは山間部に位置しており、迂回路がない路線であることから社会活動等に影響を与えるため、集約化・撤去を行うことが困難である。

【対策の優先順位の考え方】診断Ⅳ判定＞診断Ⅲ判定＞診断Ⅱ判定

※診断Ⅳについては直ちに対策を行い、診断Ⅲについては点検実施から5年以内に対策を行うものとする。診断Ⅱについては重要度(利用性や被害波及性など)を考慮し、計画を策定。

[illegible]